

スポーツ国際展開基盤形成事業 - Global Sport Initiative -

(前年度予算額: 70,828千円)
【拡充】29年度要求額: 200,000千円

国際的地位の向上、国際競技大会等の招致・開催、スポーツを通じた国際交流・協力等の我が国のスポーツ国際政策を統合的に展開し、その効果を最大限に高めるために、官民合同の「スポーツ国際戦略会議」を設置するとともに、IOC、IPC、国際競技連盟（IF）、国内外の政策・情報を収集・分析し、共有・活用する国際情報収集・分析拠点を形成し、我が国にスポーツ界の動向やスポーツの普及・強化に関する情報を集約する基盤を構築する。さらに、それらの情報を活用し、国際スポーツ界を牽引するために、各国の政策や影響力等を評価する国際スポーツ影響力指標（国別ランキング）の研究・開発を行う。

これらの基盤を活用し、IF役員等の選挙、国際的な人材の育成及び新たな国際競技大会の招致等をオールジャパンで戦略的に支援する体制を整備し、支援・推進する。

① スポーツ国際政策推進基盤の形成【新規】

国内外に拡散する情報を集約し、スポーツ国際政策を効果的に推進し、成果を評価する基盤を構築

国内外情報収集・分析・共有システムの構築：

諸外国の政府・国際機関、国内競技団体（NF）や教育機関等と連携し、動向、戦略、競技大会・会議の開催・招致、人材などに関する情報を集約、共有、分析する情報システムを構築

国際展開相談窓口の設置：

NFや企業、大学等の国際展開相談窓口の集約化、情報収集、アドバイス提供等

スポーツ国際戦略連絡会議の設置：

国内の関係機関と連携し、スポーツ国際展開に関する情報共有・戦略策定等を実施



国際展開・情報集約拠点の設置：

我が国(政府、NF、企業、大学等)のスポーツ国際政策展開及び情報収集を最大限有効化するとともに、支援するための海外拠点（例：ローザンヌ、シンガポール）の設置に関する調査・研究

政策評価指標・管理システムの構築：

国際スポーツ影響力指標（国別ランキング）成果管理システムの開発・発表

政府間会合の開催：

国際戦略推進の国家間交渉及び意思決定をリード（平成29年度はユネスコスポーツ大臣会合、日ASEANスポーツ大臣会合等）

② IF役員ポスト獲得支援【拡充】

政策決定プロセスの中核、IF等の日本人役員増加を支援

- 新規立候補者の掘り起し（メンター制度新設等含む）
- 国際会議や競技大会への派遣、ロビー活動支援
- 再選支援強化、会長・副会長への格上げ支援強化
- パラ競技支援強化（戦略事務局設置、クラス分け委員支援等）



政策決定への影響力向上
(ルール改正, 開催地選定等)

③ 若手人材の育成支援【拡充】

国際スポーツ界の中核的存在となる人材の育成を支援

キャリアパスモデル調査・研究

- 人材バンク
- 実務機会提供（国際会議への派遣支援）



スポーツ国際人材育成

国際機関（IF、IOC、IPC）へ中長期派遣

ネットワーク形成、
政策決定過程等の
実務経験

IF役員人材輩出/NF等のグローバル化

我が国の国際的地位の向上：2020年を超えた、スポーツ立国の実現